

【令和5年度 政策・調整会議】

件名：生田緑地ビジョン改定に向けた基本的な考え方について

日時：令和5年8月22日（火）13:35～13:40

場所：第3庁舎18階 大会議室

●付議理由

現行の生田緑地ビジョン策定後に顕在化した生物多様性の危機、社会情勢や状況の変化などによる課題解決に向け、持続可能な生田緑地の実現に向けて将来像を共有し、取組を推進するため

●付議概要

1 改定の背景と必要性について

- ・H30年頃からナラ枯れが発生し、R4年12月時点で、累計1874本が被害
- ・生田緑地の緑を支えてきた市民の高齢化や市民活動を支えてきた学識経験者の担い手が不足
- ・向ヶ丘遊園跡地における利用計画との連携

2 改定に向けた視点の整理について

- ①生物多様性を未来に引き継ぐ、②新たな価値創出や社会課題解決のための場となる、③しなやかに使いこなす、④多様な主体と連携・協働・共創、⑤公園DXの推進、⑥安全・安心、⑦ダイバーシティ&インクルージョン、⑧防災機能

3 新たなに生田緑地ビジョンの基本理念等について

- ・緑地の財産であり、基盤である「みどり・生物多様性」を未来に継承するため、「支えあう、自然と人々の営み」を基本テーマとして設定
- ・「豊かな自然・文化・人・まちが息づきみどりがつなげる持続可能な生田緑地の実現」を基本理念として設定

4 基本理念の実現に向けた施策の基本方向について

- ・5つの生田緑地の資源（①みどり・生物多様性、②施設、③文化、④人、⑤まちづくり）の資源ごとに市民の想いを踏まえ、わかりやすく将来像（概ね10年イメージ図（案））を提示
- ・今後、オープンハウス等において幅広く意見を聴きながら将来像を具現化

5 施策の基本方向

課題解決に向けて、生物多様性を未来に引き継ぐなどの8つの視点を踏まえ、施策の基本方向を整理し、持続可能な生田緑地を目指す

●結論

報告内容について確認